

第8章 資料作成支援・品質管理等

本章では、本業務に係る資料作成支援や品質管理等について概説する。

8.1 資料作成の支援

公的施設における太陽光発電の導入実績等の情報について、環境省担当官の求めに応じ、資料作成の支援を行った。支援に当たっては、外部への分かりやすさに留意し、迅速に対応した。また、本情報は環境省の今後の太陽光導入支援・加速化において重要な情報であり、最終的には REPOS への搭載につながることから、REPOS 業務の知見・実績を背景として REPOS 業務との整合性に配慮した資料内容とした。

8.2 環境省との定期的な打合せの実施

環境省担当官と定例会議を開催し（2週に1回）、確実な進捗管理と業務状況の情報共有を図ることで、環境省のニーズを小まめに把握・反映できるよう努めた。

8.3 関係者間での定期的な打合せ

本業務では、“国の再エネ施策”、“太陽光発電”、“再エネポテンシャル”、“AI 判読技術”、“航空画像・衛星画像データ”といった多岐の専門分野にわたる高度な知見・ノウハウを総合的に組合せ、本業務が目指す成果に的確に繋げることが重要である。そのため関係者間での定期的な打合せを設け各種情報・知見・技術が有機的につながるようプロジェクトの円滑なマネジメントを行った。

8.4 データの検証、妥当性確認

実施すべき業務が予定通り円滑に進行しているか、工程表に基づき進捗管理を行った。また、令和2年度環境省業務「再エネ導入ポテンシャル情報を活用した再エネ導入促進委託業務」における太陽光 AI 実証試験業務を担った技術者を照査担当者として配置し、適宜意見を求め妥当性を検証した。